

健康まつりは中止 するののか?

坂本 早苗 議員

坂本 新年度の予算書には健康まつりの予算が計上されていないが、今年健康まつりを実施しないのか。
政策課長 市の祭りは合併以降形を変えながら市民祭り、夏祭り、秋祭り等毎年開催してきた。この2回は「ウェルネスシティこうし」の主催によりカントリーパークで健康まつりを開催している。30年度は一旦リセットし検討を行う。今回開催しないという事でなく、実施すべき内容が固まれば補正予算に計上したい。

市役所内の男女共同参画推進は?
坂本 女性管理職登用状況は。
総務課長 現在課長級以上は4名。退職者があり、女性職員を対象にキャリアアップ研修等を実施したい。
坂本 男性の育児休業100%取得の企業もあるが、市役所内の男性職員の育児休業取得状況は。
総務課長 これまで平成21年度1名の男性職員が取得している。



KOSHI 健康まつり



「肥後六華の會」 活動の成果を問う

上田 欣也 議員

上田 「合志市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に含まれる「肥後六華の會」は当初の計画通りの成果が上がっているか。
政策課長 民間主導で市民の結婚・出産・子育ての希望をかなえるという基本目標で女性の起業20件を目指して取り組んできたが、2年半で現在3件の実績である。多くの課題が見えてきたところだ。



議場内の肥後六華

上田 目標の見直しは考えないか。
政策課長 女性活躍を推進、支援する人材の確保により、指標の達成に向けて取り組みたい。

総合教育会議について
上田 設置された経緯と設置後の変更点及び成果について。
企画課長 法改正により平成27年5

月に設置。市長と教育委員会が相互の連携を図りつつ、より一層民意を反映した教育行政を推進するため調整を行う場である。これまで主に教育委員会が教育行政を担ってきたが、設置により民意を代表する市長が、直接教育行政に意見する場ができたことで連携が深まっている。
学校教育課長 教育行政における責任体制が明確化され、迅速な危機管理体制が構築されている。
教育長 新学習指導要領に対応するため、市内小中学校すべての教室に電子黒板、教師用パソコン、プロジェクターを設置する方向になった。

さらなるごみ減量化は可能か

上田 対前年比で減少していたが、今年度は増加傾向にある。原因は。
環境衛生課長 被災家屋の公費解体が28年度より29年度の方が多かったことなどによると考える。
上田 ごみ袋単価の引き上げは。
環境衛生課長 負担の公平性と減量化を考慮して進めたい。



合志市はPFI事業を 理解していたのか

神田 公司 議員

神田 「小中学校新施設整備・維持管理PFI事業」が成立しなかった要因は。
学校教育課長 要因は近年の社会情勢として災害からの復興工事、オリンピック関連の建設工事等による資材高騰や労務価格の高騰が考えられる。

神田 合志市としてPFI事業を本当に理解していたのか。内閣府やこれを受託したコンサルタントに依拠しすぎたのではないか。
政策部長 合志市PFI導入基本方針を作っており、施設の構築、改築を内容とする事業、かつ施設整備に要する経費がおおむね20億円以上のものは検討するとなっている。

神田 不成立もあるという認識はしていたのか。
政策部長 結果として、PFI事業は成り立たなかった。

神田 実施方針の公表から約1年が過ぎ、教育委員会や合志市の執行部のもとは設計図も何もない。今後は。
学校教育課長 児童生徒数、学校施設の現状を考えると分離新設校の必



要性は変わらないので、当初の開校年度平成33年4月を優先した整備方法を検討した結果、設計施工の一括発注方式としたい。

神田 市長の決意は。
市長 開校時期を固に合わせる決意で頑張っていく。

神田 PFI事業という慣れない発注の在り方、わかりにくいシステム。VFMについては誰も説明しない。結果論とは言え、この1年間は「失われた1年」となった。専門職員の採用の検討は。
市長 29年度から一人嘱託という形で1級建築士と施工管理を両方持っている方にきていた。30年度は、管財課を作るので、その中で一緒にチェック、あるいは提案をいただく。



小中学校予定地 (医療刑務所跡地)

LGBTを支援する 取り組み

松井 美津子 議員

松井 文科省のいじめ防止基本方針に性的マイノリティの生徒への配慮が記載されているが本市の対応は。
学校教育課長 人権教育の中で、多様な生き方を認め合い共に生きる力を育む学習を行い、いじめや差別を許さない学校、学級づくりに取り組んでいる。

松井 本市においてLGBTの人へのおもてなしの視点を伺う。
人権啓発教育課長 「レインボーフラッグ」は職員や市民への啓発を行い、窓口全体について設置検討となる。トランスジェンダーのトイレ対応については、各公共施設に（たれでもトイレ）の表示を進めていきたい。



同企連 LGBT 研修

市のホームページのバリアフリー化について
松井 本市の取り組みを伺う。

企画課長 平成30年度のリニューアルを目指し、ホームページの構成や追加する各種機能などの検討を進め高齢者や、障がい者の方へのバリアフリー化、アクセシビリティ対応に配慮した構成になるよう工夫する。
心のバリアフリーの推進について
松井 障がいのある人に対する接客の在り方について伺う。
福祉課長 障がい者差別解消法が施行され、自治体の日常業務において合理的配慮が義務となったため対応マニュアルを作成後、全職員の研修に取り組んでいきたい。
中高年のいきいきプロジェクト
松井 8050問題という言葉が生まれているが、今後の支援の構築を伺う。
福祉課長 家族の困りごとを把握し、安心サポート合志や関係各課、関係機関で連携した相談支援体制の構築を図っていききたい。

